

あすなろ

2023年9月4日

みみレター

第5号

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
校内支援部 (文責 栗原)

知っていますか？デフリンピック

聞こえない人のスポーツの祭典「デフリンピック」が、2025年11月15日に東京で開幕します。

デフリンピックは英語の「Deaf」（聞こえない人）と「Olympics」を掛け合わせた、聞こえない人だけが参加する大会です。オリンピック・パラリンピックと同じように4年に1度、夏と冬の大会が2年ごとに開かれます。第1回は1924年のパリ大会。2025年の東京大会は100年になります。日本で開催されるのは初めてです。大会は11月15日から26日までで80の国と地域から4000人を超える選手の参加が期待されています。去年の東京パラリンピックとほぼ同じ規模か、それ以上になります。目的は「スポーツを通じた平等」。情報のバリアフリーを推進することで、誰もが取り残されない世界の実現を目指しています。聞こえない人が大会の運営を担うので、コミュニケーションは音声言語ではなく国際手話になっているのも特徴で“手話は言語”という理解を広めることにもつながります。

デフリンピックの競技ですが、東京大会では国際オリンピック委員会が認めている21の競技が予定されています。珍しいところと言うと、聞こえない人に人気のオリエンテーリングやボウリングもあります。ルールはオリンピックや聞こえる人の世界選手権とほぼ同じで、パラリンピックのようなクラ

ス分けはありません。出場できるのは、補聴器や人工内耳をつけていない状態で、日常会話よりも大きな音でないと聞き取れない人たち。プレー中はもちろん練習の時から補聴器や人工内耳を使うことは認められていません。不正が行われないよう専門の資格を持った検査技師によって診断されます。

りくじょう さ さ き せんしゅ 国体出場決定！

しょうがい う む こ ちょうかくしょうがいしゃ こくさい たいかい りくじょうだんし
障害の有無を超えて……。聴覚障害者による国際スポーツ大会「デフリンピック」の陸上男子
100メートル金メダリストのささきたくまけんしゅ (29) が、2023年10月に鹿児島県で開催される特別
こくみんたいいくたいかい (いわゆる国体) に出場が決まりました。トラック種目においてデフ陸上の選手では初
の快挙です！

ささきたくまけんしゅ 佐々木琢磨選手からのコメント

まえ わたし せかいいち
前の私はデフリンピックで世界一になること
が全てでしたが、なとり れんしゅう つ かさ
名取コーチとの練習を積み重
ねるたびにせかいいち になって「もっとつよ
強くなり
たい」その気持ちが湧いてきてるようになり、
いま たいかい りくじょうたいかい ばん
今はどの大会でも陸上大会の1つとして1番
をめぐめ 目指して日々トレーニングに励んでいます。
なので、こくたい ても 目指します。せんたい
国体でもってっぺんを
だいがく こうはい おおうえ しゅつじょう か
大学の後輩の大上くんも出場するので勝つこ
とがいま わたし 一番めくひょう おうえん
今の私にとっては一番目標です。応援の
ほどよろしくねが お願いします。

出典：一般社団法人日本デフ陸上競技会-jdaa Facebook より

ほ ちよう き てん らい こう び 補聴器店 来校日

< 13:10~ 通級教室 >

こうべ
□神戸ヒヤリングセンター

がつ 14 日 (木) がつ 28 日 (木)

ひめじほちようき
□トーン姫路補聴器センター

がつ 15 日 (金)



補聴器の故障や買い替え、作りの作り替えの際は、補聴器店 来校日を確認して、担任にお申し出ください。